

「市民が真ん中」の市政を



徳永 繁樹 市長

平成15年、愛媛県議会議員選挙に立候補し初当選以来、5選。今治市長選挙に立候補を表明し、令和2年12月、県議を辞職。令和3年2月の今治市長選挙で初当選。野球少年でポジションはピッチャー。スポーツ全般、観戦も趣味。

昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大がやまない中、市民生活や地域経済も苦境が続いています。そんな厳しい状況のなか、今年2月に就任した徳永繁樹市長。「今治市の未来が持続可能な経済循環するまちとして発展し続けるよう挑

今治を物流・観光の拠点に 瀬戸内クロスポイント構想

「なるようトップセールスを展開し、情報発信と販路開拓を行っていくます。」

記者 今治には、しまなみ海道など資源も豊富ですが、課題や今後の展開として何か施策はありますか？

市長 まず、生活道としてのしまなみ海道の通行料金の問題です。島しょ部の皆さんから通学や病院への通院など橋の通行料金が生活費に占める割合が大きいと聞いています。時間のかかる問題ではありますが、実質無料化という目標に向け、できるところから負担の軽減を検討していきます。また岡山理科

大学今治キャンパスなどを核としたまちづくりや、FC今治と連携したスポーツの振興も取り組んでいきます。

記者 3つ目の柱「ひとりひとり」が輝く今治を、みんなで創出についてはいかがでしょうか？

市長 女性や子どもが輝くやさしいまちの実現です。今治市の人口をみると、若年層や子育て世代の女性が流出しており、非常に危機感を感じています。

結婚・妊娠・出産・育児と切れ目のない支援を目指します。小児科の日曜・祝日急患診療の当番医体制も確保するため、今治市医師会への医師の派遣を拡充し、医療体制も整えています。高齢者への支援や発達支援、重度心身障がい児への支援体制の充実など、共生できる社会の実現を目指します。

防災に関しては今治市総合防災マップを作成し各戸に配布したいと考えています。また感染症予防に対応した避難所の運営体制を充実させるため、公民館のトイレの洋式化や防災ラジオの整備も拡充していきます。

最後に、これからはウィズコロナ・アフターコロナへの対策と、直面する人口減少、少子高齢化など、幅広い課題への政策を並行して進める必要があります。しかし、どんな厳しい状況でも愛する今治の街、市民を守るため、皆さんの声と自らの行動力で「未来への新しい風」を起こし、共に今治の街を変えていきたいと思っています。ご協力を宜しくお願いします。